

地方独立行政法人天王寺動物園
令和7事業年度の業務実績に関する評価結果

令和8年9月

大 阪 市

1 地方独立行政法人天王寺動物園の評価の考え方

市長は、地方独立行政法人天王寺動物園について、「地方独立行政法人天王寺動物園にかかる業務実績評価実施要領」に基づき、次のとおり令和7事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

【評価の基本方針】

- 評価の目的は、年度計画、中期計画の進捗状況等を中期目標の達成状況や具体的な事例等により評価し、組織・業務等に関する改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上及び中期目標に掲げる大都市大阪にふさわしい「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」の実現に資することとする。
- 市民への説明責任の観点から、中期目標の達成に向けた法人の取組状況等を分かりやすく示すこととする。
- 評価の方法については、法人を取り巻く環境変化等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。

【評価の方法】

事業年度評価は、「小項目評価」「大項目評価」及び「全体評価」により行う。

「小項目評価」では、当該年度の年度計画に掲げる事項ごとに、法人による自己評価の結果をもとに、年度計画の進捗状況や業務実績に関する事実確認をするとともに、法人の自己評価の妥当性の検証と評価を行う。

また「大項目評価」では、当該期間の中期目標に掲げる事項ごとに、小項目評価での結果等を踏まえ、中期計画の進捗状況等も考慮し、評価を行う。

さらに「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえ、当該事業年度における中期目標の達成に向けた進捗状況について、記述式による総合的な評価を行う。

（評価の具体的方法）

（１）「小項目」につき、その達成度を５段階で評価を行う。

- ① 法人が、各事業年度の終了後３ヶ月以内に、当該事業年度における業務実績についての自己評価結果を、所管する建設局に提出する。

自己評価の区分は次のとおりとする。

- V・・・計画を大幅に上回って実施している
- IV・・・計画を上回って実施している
- III・・・計画を順調に実施している
- II・・・計画を十分に実施できていない
- I・・・計画を実施できていない

- ② 建設局が、法人による自己評価に対する小項目の市長評価（案）を作成する。

建設局において、資料確認やヒアリング等を通じて、法人の自己評価、目標設定の妥当性及び目標への取組等を総合的に検証し、年度計画の進捗状況について、５段階

で評価を行う。

評価の区分は、法人の自己評価の区分と同様とする。

- ③ 評価委員会を開催し、小項目の市長評価（案）に関して、評価委員会が意見を申述する。その意見を踏まえた評価を最終的な評価とする。

（２）小項目評価に基づき、「大項目」への達成度を５段階で評価を行う。

- ① 建設局において、小項目の評価結果や中期計画の全体的な進捗状況を踏まえ、大項目の市長評価（案）を作成する。

評価の区分は次のとおりとする。

S・・・特筆すべき進捗状況

A・・・計画どおり

B・・・おおむね計画どおり

C・・・やや遅れている

D・・・重大な改善事項あり

小項目について、おおむね「Ⅲ」の評価であれば、大項目は「B」の評価を基本とする。

大項目について、「B」以外の評価を行う場合は、小項目評価でⅣ以上の高評価やⅡ以下の低評価となっている項目について、単に項目数ではなく、項目ごとの内容の中期目標での重要性等を考慮し、総合的に判断の上、その理由を示す。

- ② 評価委員会を開催し、大項目の市長評価（案）に関して、評価委員会が意見を申述する。その意見を踏まえた評価を最終的な評価とする。

（３）項目別評価を踏まえた総合的な評価を「全体評価」として、記述式で行う。なお、評価項目にはない事項でも中期目標の達成に資するものは、ここで評価を行う。

- ① 建設局において、各項目の評価結果や中期目標の達成に向けた進捗状況を踏まえ、記述式で市長評価（案）を作成する。
- ② 評価委員会を開催し、市長評価（案）に関して、評価委員会が意見を申述する。その意見を踏まえた評価を最終的な評価とする。なお、次期事業年度に向けた改善等の意見があれば、併せて記載する。

●全体評価

以下のとおり大・小各項目別の評価結果を踏まえ、大阪市地方独立行政法人天王寺動物園評価委員会における評価委員の意見を参考に、令和7事業年度における地方独立行政法人天王寺動物園の業務実績に関する全体評価を定めた。

全体として計画どおりに進捗したと評価できる。

特に、令和7年度末にマレーシアからゾウを導入できたことは大きな成果であり、8年ぶりの展示という園の魅力向上にとどまらず、繁殖に関する調査・研究など生物多様性保全に資する取組としても重要な意義がある。また、これに伴う獣舎の改修・拡充や準間接飼育法の導入などは、動物福祉の観点からも非常に重要である。

また、ゾウ以外の希少動物として、昨年6月にアムールトラを導入するとともに、トラ舎の充実に向け、令和3年度以来2回目となるクラウドファンディングを実施し、広報活動や受入れ方法の拡大など新たな取組を行った結果、2ndゴール（22百万円）を超える約24百万円を獲得したことは高く評価できる。

そのほか、調査研究を継続し、他園との知見共有を進めるとともに、生息域内保全・生息域外保全の取組を拡大できた点も評価できる。

イベントによる魅力向上の取組に関しては、開園110周年イベントを多数実施したほか、人気のホッキョクグマイイベントでは、アンケート結果の分析を踏まえ新たな取組を実施したことで満足度をさらに向上させることができた。

加えて、物価や人件費が高騰する中で、計画どおりに「アジアの森ゾーン」及び「新ホッキョクグマ舎」といった大規模獣舎を、予算内かつ工期内で完成させたことは、法人の努力の賜物である。

また、少子高齢・人口減少社会が進展する中、持続的かつ安定的に天王寺動物園を経営するためには、人材の確保と人材育成は重要であり、資格取得支援制度の見直しなど、各種制度の見直しを行った。今後とも、計画的かつ柔軟に人材確保に努めるとともに、職員の意欲喚起につながるよう、制度・運用両面から検証・見直しを実施し人材育成の充実が図られることを期待する。

財源確保の面では、入園料外収入として、クラウドファンディングの実施のほか、寄附付き入園券等の新たな取組により目標を上回る寄附額を獲得できたが、入園料収入については猛暑などの影響もあり、上半期の入園者数が目標値に届かなかった。入園者数に関しては、原因の分析結果を踏まえ、今後どのように増加させていくか、具体策の検討を進められたい。

第2期における法人経営を持続可能な確固たるものにするため、法人は第2期中期計画を定めた。さらに、より具体的かつ計画的に取り組めるよう、マーケティングや営業戦略に精通した外部人材を登用し、ファンクラブ収入等収益源の多様化と安定化を目指した経営戦略を策定するとともに、地方独立行政法人の強みである柔軟かつ迅速な意思決定や実行力、組織内のコミュニケーションの一層の充実を目指した組織力向上計画、動物福祉に配慮した展示や来園者サービスの向上、緑化による快適な空間の形成や地球環境への配慮などを目指した施設整備計画を策定した。第1期の成果と課題を踏まえ、次期取組へ効果的に反映させ、引き続き「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」を目指してほしい。

●項目別評価

大項目		小項目	
S	1 項目	V	1 項目
A	2 項目	Ⅳ	6 項目
B	12 項目	Ⅲ	44 項目
C	0 項目	Ⅱ	1 項目
D	0 項目	I	0 項目
合計	15 項目	合計	52 項目

大項目別に、評価の概要を次ページ以降に示す。

なお、詳細については、別添の評価シートを参照のこと。

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1-1 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による天王寺動物園の魅力向上

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 複数の希少動物の導入に加え、アジアゾウ3頭の導入を達成したことで、園の魅力向上に大きく貢献した。 ➤ JAZA（日本動物園水族館協会）の個体群管理計画に基づく種別管理等を受嘱するなど、他園との信頼構築に努めている。 ➤ 昨年度に引き続き開園110周年イベントを実施したほか、大阪・関西万博と関連した取組や積極的な広報活動を行うことで、園の魅力発信、サービスの充実に意欲的に取り組んだ。 ➤ ファンクラブについては、各種イベントで宣伝するなど、認知向上に取り組んだほか、ガチャ付き入園券といった新たな取組を開始したことで加入者増につながった。 ➤ 園内巡視や来園者の声を反映した美観保持に努めることで、来園者から高い満足度を獲得した。 ➤ 上記より特筆すべき進捗状況であることからS評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
12	1	2	9	0	0

1-2 動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 来園者の行動変容へつなげる取組として、教育普及アクションプランに基づき、開園110周年記念の企画展を複数実施するなど、教育活動の推進に貢献した。 ➤ 教育効果をさらに高めるため、おやつ・ごはんタイムの運用改善策を検討した。 ➤ 上記より、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

1-3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 作業マニュアルの点検・検証に加え、監視カメラを設置することにより動物の逸走対策を強化した。 ➤ 環境エンリッチメント、ハズバンドリートレーニングについて対象種を拡大し、その中で質的向上が認められるなど、飼育技術の高度化につながった。 ➤ 獣舎整備については、必要面積などJAZAの適正施設ガイドラインに準拠した獣舎を整備したほか、既存の獣舎の維持管理に努めながら、今後の整備に向けた検討を進めた。 ➤ 上記より、計画どおり進んだことからA評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
5	0	1	4	0	0

1-4 繁殖及び調査研究活動の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 繁殖に向けた取組を継続したほか、オオサンショウウオの保全に取り組んだ結果、調査実績が評価され単独で調査することが認められた。 ➤ 日本産動物をテーマとした普及啓発イベントを開催し、種の保存に貢献した。 ➤ 調査研究については、継続して飼育各班に研究テーマを割り当て、研究を実施したほか、各種研究会で研究結果を発表し、他園と知見の共有を図った。 ➤ 上記より、計画どおり進んだことからA評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
5	0	1	4	0	0

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

2-1 自律的な組織経営

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 機動的な組織体制の構築に向け、研修等による職員の意識醸成や採用活動を継続的に実施しており、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2	0	0

2-2 人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 継続して人材育成に係る研修等を実施した。 ➤ 資格取得支援制度に簿記を追加するなど、適宜改正を行った。 ➤ よりインセンティブが適正に働く人事評価制度を構築すべく、検証と見直しを行った。 ➤ 上記より、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

2-3 効果的・効率的な業務執行

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 適宜、市と情報共有を図りながら進捗管理を行ったほか、今後の業務の効率化にむけてkintoneを導入し、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2	0	0

3 財務内容の改善に関する事項

3-1 収入の確保

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 入園料収入は目標値に届かなかったものの、入園料外収入は、寄附付き入園券などの新たな取組の導入や開園110周年記念グッズ等の開発により、目標を上回った。 ➤ クラウドファンディングを実施し、積極的な広報活動により2ndゴールを達成することができた。 ➤ 上記より、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
4	0	2	1	1	0

3-2 経費の節減

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 光熱水費の削減に継続的に努めるとともに、獣舎整備についても予算内で完了し、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2	0	0

4 その他業務運営に関する重要事項

4-1 内部統制の強化

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 継続して内部統制にかかる取組を実施しているほか、不適正事案の発生に際しても適宜対応し、再発防止策を講じており、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
7	0	0	7	0	0

4-2 来園者の安全確保

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 来園者の安全確保に向けて、継続して猛獣脱出訓練等に取り組んでおり、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

4-3 職員の安全衛生管理

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 職員の安全・健康保持に向けた取組を継続して実施しており、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-4 環境に配慮した取組の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 継続して環境に配慮した取組を着実に実施し、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	O	O	1	O	O

4-5 情報公開の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 財務諸表や年報のほか、第2期中期計画等について公開し、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	O	O	1	O	O

4-6 BCPの策定

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 次年度以降のBCP改定にむけて検討しており、おおむね計画どおり進んだことから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	O	O	1	O	O